

2024年3月6日(水)～19日(火)

@ AOTS関西研修センター

循環経済型ビジネスモデルへの 転換研修コース [CEB]



コースディレクター
水野 大二郎 博士
京都工芸繊維大学
未来デザイン・工学機構 教授

本研修コースの目的・特長

本コースではサーキュラーエコノミー(CE)の概念、循環性向上に向けた方策を検討するために有効なツールの使い方、CE型ビジネスのあり方について学びます。また、企業のCE型ビジネス事例を見学し、CE型ビジネスモデル実践について具体的な知識を得ます。これらの学びを通して、参加者が自社においてCE型ビジネスモデルへの転換を推進できるようになることを目的としています。

- ✓ビジネス環境の変化を整理・認識し、**CEの概念、CE型ビジネスの類型、基本戦略**について理解を深めることができます。
- ✓CE型ビジネスの構築に必要な**サーキュラーデザインやその他の手法**について、使い方を習得できます。
- ✓**企業見学**を通してCE型ビジネスの構築、課題について**実践的な知識**を得ることができます。
- ✓**CE型のビジネスモデル転換のためのアクションプランの策定**を体験的に学び、自社で実践する基礎力を身に付けます。

コースディレクター 水野 大二郎 博士

2008年Royal College of Art博士課程修了（PhD Fashion design）。広義の環境の新たな相互作用や循環系実現のための新たな人工物の設計理論や手法及びその実践を研究対象としている。

近年では企業に対して循環型製品・サービス開発に関する助言などを行いつつ、経済産業省や世界デザイン会議などにおいても有識者として積極的にcircular designの普及・定着のために発言をしている。

お問い合わせ・お申込み先:

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）
〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1
企業連携部 研修・派遣業務グループ
TEL : 03-3888-8221
Email : kigyo-inquiry-az@aots.jp

定員

20人

言語

英語

(あるいは、英語通訳付で行われます。)

対象者

1. 原則として、開発途上国企業の経営者、経営幹部、中・上級管理者の方。産業団体等の管理者、職員の方。
2. 年齢は20歳以上の方
3. 開発途上国または地域に居住の方
4. 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方

参加費

参加費の一部に国の補助金が適用されます。
お見積もりいたしますのでお問合せください。

申込締切

2023年12月15日（金）

上記締切までに左記連絡先に書類が到着するようお申込みください

コース日程

※講師や見学先等の都合により日程や内容が一部変更になる場合があります。

月/日	午前	午後	夕方
3月6日 (水)	オリエンテーション/ 開講式	講義: サーキュラーエコノミーの概念とビジネスや産業に求められる対応	GW: グループ討論 ガイダンス
7日 (木)	講義/演習: サーキュラーデザイン		GW: グループ討論(1)
8日 (金)	講義: 資源循環論	見学: サーキュラー型ビジネス実践事例 (廃棄物の再利用・再資源化)	
9日 (土)	休み		
10日 (日)	休み		
11日 (月)	講義/演習: ライフサイクルアセスメント(LCA)の基本原理とビジネスモデルの評価		GW: グループ討論(2)
12日 (火)	講義/演習: ビジネスエコシステムのマッピング		GW: グループ討論(3)
13日 (水)	企業等見学 (遠隔地)	見学: 循環性を高める新技術若しくは自然由来素材の実用化 に向けた取り組み事例 (再生可能な原料・エネルギーの供給)	
14日 (木)		見学: 循環経済型ビジネス実践事例 (製品寿命の延長/リファーマービッシュ/修理・再利用)	
15日 (金)		見学: 循環経済型ビジネス実践事例 (シェアリング・プラットフォーム/サービスとしての製品)	
16日 (土)	休み		
17日 (日)	休み		
18日 (月)	見学: 循環経済型ビジネス実践事例 (リジェネレイティブ/自然生態系の回復/域内の資源循環)		GW: グループ討論(4)
19日 (火)	グループ討論レポート発表		修了式

AOTS関西研修センター

宿泊施設(食事付き)を併設した研修施設です。

(住所: 〒558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香1丁目7-5)



申込詳細は企業連携部 研修・派遣業務グループ(前頁参照)までお問合せください。